

# インマヌエル中目黒キリスト教会

## 6月24日 第二礼拝

---

聖日礼拝

「真夜中の賛美」

使徒の働き

16章24節～31節

梅田登志枝牧師

# 聖書朗読 新約聖書

## 使徒の働き

### 16章24節～31節

聖書本文は新改訳2017

(©新日本聖書刊行会)を使用しています

第二版の聖書は 240 ページ

第三版の聖書は 261 ページ

2017の聖書は 268 ページ

24 この命令を受けた看守は、二人を奥の牢に入れ、足には木の足かせをはめた。

25 真夜中ごろ、パウロとシラスは祈りつつ、神を賛美する歌を歌っていた。ほかの囚人たちはそれに聞き入っていた。

26 すると突然、大きな地震が起こり、牢獄の土台が揺れ動き、たちまち扉が全部開いて、すべての囚人の鎖が外れてしまった。

27 目を覚ました看守は、牢の扉が開いているのを見て、囚人たちが逃げてしまったものと思い、剣を抜いて自殺しようとした。

28 パウロは大声で「自害してはいけない。私たちはみなここにいる」と叫んだ。

29 看守は明かりを求めてから、牢の中に駆け込み、震えながらパウロとシラスの前にひれ伏した。

30 そして二人を外に連れ出して、「先生方。救われるためには、何をしなければなりませんか」と言った。

31 二人は言った。「主イエスを信じなさい。そうすれば、あなたもあなたの家族も救われます。」

# 説教

聖日礼拝

「真夜中の賛美」

使徒の働き

16章24節～31節

梅田登志枝牧師

# パウロの第二次伝道旅行

使徒の働き15:36-18:22



< 初めに >

半年を思い返し、感謝をささげる礼拝に

< 賛美について >



賛美は、礼拝の重要な要素  
詩篇は賛美の書



# < 使徒の働き 16章について >

- 1 . 人生の大転換をしたパウロ
- 2 . 2回目の宣教旅行の途次、ピリピでの出来事
- 3 . 獄中で賛美するパウロとシラス

今日は「真夜中の賛美」と題して3つのことを取り上げたい。

# ・ 信仰生涯の真夜中（25節）

まず「真夜中」について考えたい。

A．バルナバとの対立

B．不当な訴え、投獄

C．私たちの真夜中： 失望の谷



# ・ 祈りと賛美（25節）

次に「祈りと賛美」について見てみよう。

A．祈りの内容：

癒しと助けを求める祈りか？

B．祈りは神様との会話

C．祈りと賛美



# ・ 神様の答え（26～40節）

最後に、神様の答えを見ることにしましょう。

- A．突然の地震、牢の扉の開放
- B．看守の回心
- C．福音の前進



# 終わりに（結論）

今朝は「真夜中の賛美」と題して話をしました。

- 1．真夜中と思えるような状況にあっても、素晴らしい答えをお持ちの神様に目を向けましょう。
- 2．神様に祈り求めるとともに、神様がどのようなお方であるかを決して見失わないようにしましょう。
- 3．愛の神様を信じて、その答えがどのようにして与えられるのかを楽しみに、神様に賛美するものでありたい。